

香芝市国際交流市民の会



# グローバル香芝

The International Exchange Society, Global Kashiba

## あの留学生は今…⑭



今回は2009年度に大阪教育大学に留学されていた黄一飛(コウ イチヒ)さんのエッセイをご紹介します。日本人以上に謙虚で礼儀正しく、就職後は、ご両親を日本旅行に招待する等、我々日本人が見習うべき親孝行な好青年です。



大阪教育大学と出会ったのは、ちょうど 5 年前でした。中国上海・同済大学の日本語学科の極普通の一人の学生だった私は、大学に入った時、自分が二年後交換留学生として日本の大学で勉強できるとは思わなかったです。そして、交換留学が終わってから四年後の今でも、たぶんこれからの人生のいつでも、大阪教育大学で一年間の学生生活を過ごさせていただけによかったと思うでしょう。

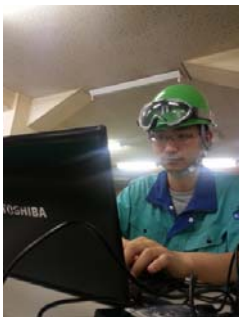
大阪教育大学では、自分のレベルにふさわしいレッスンを選べ、日本語語力をはじめ知識を身につける他、いろいろな国の留学生との交流ができお互いのことを理解し、異文化の環境で自分の人生観、価値観を発展させることができました。特に後者は海外に出るならこそその収穫で、そして自分のこれからの人生に大きな影響を与えてるだろうと思います。学校の職員や先生たちも優しくしていただけ、勉強だけではなく、プライベートでの交流も

できました。グローバル香芝の日本語学習支援、日本文化を楽しむ会、スポーツ大会、ホームステイ等のイベントで、日本語を向上させられた以外、日本の文化に対する理解を深め、友達を作ることができました。

最初日本語を勉強したのはただ自分の地元で日系企業が多く、日本語を喋れたら仕事を見つけやすいだろうと考えただけです。しかし、大阪教育大学での充実な一年間を過ごせた私は皆さんのおかげで、この国のことが大好きになって、日本語の勉強を選んでよかったと思い、またここに戻りたい！という気持ちも非常に強くなりました。この夢をさらに目標にし、帰国後の就職活動では日本で学んだことを活かし日本で仕事できるチャンスを手に入れました。そして二年前から、日本に戻って大阪の某メーカーで海外調達の仕事をしております。



大学時代 留学生友達と



日本の大手企業に勤務

今の仕事でも中国やマレーシア等によく出張し、日本人と外国人の架け橋として頑張っていますが、大阪教育大学で学んだ異文化理解のことがどれだけ重要なことなのかを自分の身で体験しています(痛い経験もありました)。

商習慣の違い、文化の差異を乗り換え、自分のことを守る一方、相手の立場で相手のことを考えることが重要です。国際ビジネスのWIN-WIN 関係の構築の起点はまさに異文化理解ですので、ますます異文化理解の重要性を感じております。この道を開いてくれた大阪教育大学とグローバル香芝の皆様にもいつでも感謝しております。

2012年3月再び日本に来た時、飛行機に乗っていた私は着陸前、大阪の土、大阪の海を眺め、「やはりここは私の居場所ですね」と思わず涙がこぼれてしまいました。これからも初心を忘れず頑張ります。

(大阪教育大学 2009 年度交換留学生 黄一飛)

### ◆香芝市在住外国人数 26ヶ国 480名

2014年6月30日現在

アメリカ:8、イギリス:2、インド:1、インドネシア:2、オーストラリア:3、韓国:245、ギリシャ:1、スイス:1、スウェーデン:1、シンガポール:1、タイ:15、台湾:7、中国:112、朝鮮:7、チュニジア:1、ネパール:12、パキスタン:11、バングラディッシュ:4、ブラジル:14、フィリピン:16、ブルガリア:4、ベトナム:8、ペルー:1、ポーランド:1、ロシア:1、ドイツ:1

## ◆2014年2月24日→国際料理教室～ベトナム編◆

ベトナム人留学生のチャウさんを講師に迎え4品のベトナム料理を教えてくださいました。

① フォー②バンセオー③レンコンサラダ④ココナッツゼリー



レンコンは日本のものと違い、5mmほどの細さでした。バンセオーはレタスで巻いて手で食べたりと、普段とは少し違った新しい体験でした。辛さもちょうど良く、おいしくいただきました。

☆八尾にベトナム料理のお店があり、食材をそろえることができます☆ (庄司)



## ◆2014年3月23日 第49回国際理解セミナー◆

『アフガニスタンの教育事情～歴史的背景とともに』

当日の講師は JICA プログラム研修員として大阪教育大学の特別支援教育分野で研修されているハニフィー氏、オマル氏、バサル氏の三方にお願いし、アフガニスタンの歴史や文化、教育の現状について、興味深いお話をして頂きました。

当日は一般市民、当会会員等を含め 58 名の聴講者が講師の英語での話を阪井さんの流暢な通訳を通じて、熱心に聴講されました。日頃はマスメディアから紛争の話ばかりが伝わってきますが、シルクロードの時代から現代までの移り変わりや生活様式などを聞き、遠いアジアの国・アフガニスタンの一端をうかがい知ることができました。

当日の聴講者から沢山のご意見、感想を頂戴しましたので一部披露させていただきます。(平岩)

“アフガニスタンという国は、マスコミで報じられていることしか耳にしていなかったもので、改めて歴史的にも色々なことがありながらも美しく伝統のある国だと再認識しました。”

“教育面では、まだまだこれから変革が必要だと思いますが日本まで研修に来られたお三方には日本の教育の良い面・悪い面どちらも学んで頂き、これからのアフガンの子供たちに役立てば幸いです。”

“普段、私たちは生活の中で不満ばかり言いがちですが、平和や自由がいかに大切かという事を今日のセミナーで学ばせて頂きました。ありがとうございました。”



“欧米の人が日本人は今でも着物、はかま、ちょんまげの侍姿で生活していると想像している人が一部にいるように、アフガニスタンの女性はヴェールを着用しているイメージがありました。そうでないこと、またミニスカート姿で過ごしても支障のない時代があったことに驚きました。政権の影響によって人々の生活習慣や服装にも違いがあることに一般市民の苦難がうかがえました。”

## 5月10日→「春季ホストファミリー交流会・ホームビジット」

香芝市総合福祉センターにて開催されました。ホストファミリーの16家庭(大人31名、子ども8名)と白鳳女子短大、大阪教育大の留学生19名(欠席者1名)が参加、大阪教育大の先生にもご出席いただき総勢66名でのにぎやかな交流会になりました。まず留学生に国旗をかかげ11カ国の国別に自己紹介をしてもらいました。留学生たちも最初は緊張しているようではなかなかなめらかには日本語のでてこない場面もありましたが、受け入れ家庭のホストファミリーからの呼びかけに笑顔がこぼれ、お菓子を食べながらの交流タイムにはうちとけてし込む姿があふれて安心しました。今年は希望者が多く、3家庭で複数名の留学生を受けて頂けたこともあり市民のホストファミリーだけで受け入れができたことはうれしいことでした。いろいろご尽力いただいた皆様にお礼申し上げます。(濱野)



## 5月21日→「例会 and 親睦会」

ラッテたかまつにて5月例会及び親睦会が参加者14名で行われました。そこは閑静な高台にあり、爽やかな空気が肌で感じられ、眺望もよいところでした。



例会後、個々に分担して持ち寄ったものでバーベキュー大会が開かれました。

風光明媚な自然の中で鮮度の良い肉や野菜を食する事は普段と違い、格別なものでありました。お腹が満たされるにつれ、きも緩み、顔もほころんできて、皆さん和気あいあいと歓談されていました。

最後は大好きなアイスクリームで終わり、後味の良いものでした。

不参加の方は、どうぞ来年度お越し下さい。

(定久)

## 5月24日→「スポーツ&ゲーム交流会」

グローバル香芝が主催する国際交流行事の一つであるスポーツ交流会は、白鳳女子短期大学及び大阪教育大学の留学生12名、引率の先生2名、ホストファミリー1名、グローバル香芝の会員15名の総勢30名で行われました。留学生の国籍はミャンマー、モンゴル、マレーシア、シンガポール、ベトナム、ロシア、中国、メキシコ、韓国と多岐に亘り、国際交流感たっぷりでした。白鳳女子短期大学の体育館で、ドッジボールや各種ゲームを行い、留学生たちが楽しそうに取り組む姿を見て充実した一時を過ごすことができました。(山口)





“ 生きたことばで ”

土井盛夫

終戦の年の10月学童疎開から大阪へ戻ったら、広い道路を大型トラックが轟音をあげて走っていた。米兵がぎゅうぎゅうづめに乗っていて、「ハロー」と呼びかけたら手を挙げて応えてくれた。英語第一声であった。その後、兄に片仮名で「ホエア・アー・ユー・ゴーイング」と書いてもらい、何回も口誦して、ジープで近くのクリーニング店に来ていた米兵に話しかけた。即座に、「キャンプ キャナオカ」と返ってきた。当時、米軍が堺市の金岡町にキャンプ地を持っていた。初めて外国語が文として通じて嬉しかった。後に、高校の英会話クラブに入ったものの近くに外国人を見かけない。ある日、先輩に連れられて、外国人探しに大阪の中の島へ繰り出した。

静かな川を眺めている中年の男性に近づき、「英会話を勉強しているが、少しの時間相手をしてくれませんか」と先輩。その外国人何やらめがねをはずしたり、かけたりしているなと思っていたら、スタスタ行ってしまった。先輩の通訳によると、あなたがたは、めがねをかけているのにめがねを探しているのと同じだ。十分力を持ついるとのこと。体よく断られたわけだ。続いて頼んだ屈強な米兵にはだめだと言うのにしつこいと怒られ、前の川へほうり込むような格好をされた。

私が日本語クラブに仲間入りさせてもらったのも、この経験から留学生に日本語でのお相手をする事で少しでもお役に立てたらということであった。

今、留学生の巧みな日本語を目の当たりにして、母国であるいは研修中に、このむずかしい言葉をよく身につけられたものだと感心する。

外国語ではなく日本語で行う留学生との交流は、この年にして私が経験する異文化交流であり、グローバル入門である。すばらしい先輩諸氏の熱心な奉仕活動に触れ、目的意識高く好奇心旺盛な留学生の皆さんから刺激を受けて、今更に学びを楽しむ昨今である。

※ 次回は、百済 清さんです

<行事予定> \*8月 夏祭り \*10月 ホストファミリー説明会 \*10月 日本語勉強会  
\*11月 ふれあいフェスタ \*11月 ホストファミリー交流会

◆ ◆ “グローバル香芝” 入会のご案内 ◆ ◆

香芝市の国際交流に参加できる個人や団体で国際交流に興味をお持ちの方、私達と一緒に活動しませんか。語学力や国籍に関係なくどなたでも入会することができます。

<会費> 個人会員 年間 3,000円 / 賛助会員(団体) 年間 10,000円

<月例会> 10:00~12:00 香芝市中央公民館 7/16(水)、8/19(火)、9/17(水)、10/21(火)、11/19(水)

◆ 申し込み・問い合わせ先



香芝市役所・市民協働課内事務局 (Tel:0745-76-2001 内線 171, Fax:78-3830)

グローバル香芝: 神野俊幸 (Tel 0745-78-1666) または百済清 (Tel 0745-77-4936)

e-mail: [nijosan3231@global-kashiba.matrix.jp](mailto:nijosan3231@global-kashiba.matrix.jp) までお気軽にどうぞ!

◆ ホームページアドレス <http://global-kashiba.matrix.jp>

編集発行 : グローバル香芝・広報部会

事務局 : 〒639-0292 香芝市本町 1397 香芝市役所 市民協働課

Tel :0745-76-2001(内線 171) Fax: 0745-78-3830